



データから明らかにになった被害実態 量的分析の結果について

一般社団法人Spring 金田智之・西田なつみ・鎌田華乃子・岩田美佐
目白大学心理学部心理カウンセリング学科 齋藤梓
(a.saito@mejiro.ac.jp)

【お断り】

この発表資料には、様々なデータが掲載されています。

報告書の開示が12月中旬と少し遅れますので、その前に報告書の内容を概ねお伝えしたく、発表資料を増やすことといたしました。

ただし、発表の時間は限られておりますので、本資料のすべてを説明することはいたしません。

ご承知おきください。

調査チームの紹介

<Springスタッフ>

- 森 隆志 アンケートフォーム作成、動画作成、マネジメント
- 佐藤由紀子 アンケート作成、広報
- 金子深雪 アンケート作成
- 金田智之、西田なつみ、鎌田華乃子、岩田美佐 アンケート分析、報告書執筆
- その他Springスタッフ アンケート作成助言、アンケート広報

<One voiceメンバー>

- 川北 かおり アンケート作成
- 大竹 宏美 アンケート作成
- その他One voiceメンバー アンケート作成助言、アンケート広報

<外部研究協力者>

- 齋藤梓（目白大学） アンケート作成、アンケート分析、報告書執筆
- 岩田千亜紀（東洋大学） アンケート分析、報告書執筆

調査の概要

目的：性暴力被害の実態を把握し、社会に伝える

性犯罪に関する刑事法検討会の議論に、性暴力被害の実態を伝える

方法：WEBアンケートを作成し、SpringのWEBサイトにて公開した

また、WEBアンケートについて、SpringのSNSおよびMLで告知を行った

調査内容：アンケート項目は、性暴力被害当事者であるSpringスタッフおよびOne voiceメンバーが実態調査という目的に沿って作成したものを、Springの要請に基づいて外部協力研究者が社会調査として適切な形に修正し、SpringスタッフおよびOnevoiceメンバーとの数回にわたる協議、試行の後に決定した。

調査期間：2020年8月16日から2020年9月5日まで

調査の概要

調査内容 :

現在の年齢と性別（または性自認）、出来事の内容、出来事が起きた年齢、継続的な被害か否か、加害者人数、加害者性別、加害者との関係、出来事時の自分の状態、出来事時の加害者の言動、被害認識、相談行動、刑事手続結果、被害の記憶の有無、性交を知った年齢、性交に同意できると思う年齢について尋ねた。

対象者 : 性被害を受けたことがあるならば、年齢性別を問わず回答可能とした。
なお、回答は出来事ごととした。

分析 : データの分析はSpring内有志のスタッフおよび外部協力研究者が行った。
量的分析においては、ExcelおよびSPSSver25を使用した。

データの概要

- 回答総数は5911件
- そのうち最初の質問以降回答のなかった12データを削除し、5899件のデータについて分析を行った。
- なお、回答者への負担を軽減するため、すべての項目で「回答しない」ことが可能であり、欠損値が生じており、分析対象データ数は分析内容ごとに異なっている。また、例えば現在の年齢から被害に遭った年齢を引いた場合に-になるなど、明らかに回答の誤りの場合は覗いて分析した。
- 出来事内容は以下の項目で尋ねた。
「加害者に身体の一部や異物を口や肛門、膣に挿入された／させられた」 「加害者の性器、胸等を触らせられた」 「加害者に衣服の上から身体を触られた」 「加害者に服を無理やり脱がされた／脱がさせられた」 「加害者に衣服の下にあたる部分の身体を触られた」 「加害者に下着や裸を撮影された」 「加害者の性器、胸等を見させられた」 「その他」

データの概要

- ・ 5899データ →出来事内容で分けず、5899件すべてを含むデータ
- ・ 「挿入を伴う被害」 1274件（以下「挿入を伴う」）
⇒「加害者に身体の一部や異物を口や肛門、膣に挿入された／させられた」にチェックが付いたデータ
- ・ 「挿入を伴わない身体に触れる被害」（以下、「身体に触れる」）
⇒「挿入を伴う被害」をのぞき、下記の項目にチェックが付いたデータ
 - ・ 加害者の性器、胸等を触らせられた
 - ・ 加害者に衣服の上から身体を触られた
 - ・ 加害者に服を無理やり脱がされた／脱がさせられた
 - ・ 加害者に衣服の下にあたる部分の身体を触られた
- ・ 「撮影のみの被害」 64件（以下、「撮影」）
⇒「加害者に下着や裸を撮影された」にのみチェックが付いたデータ
- ・ 「見させられたのみの被害」 378件（以下、「見させられた」）
⇒「加害者の性器、胸等を見させられた」にのみチェックが付いたデータ

結果①

1・現在の年齢

- ・平均年齢はどの群でも30代であり、20代から40代の回答が多かった

	分析データ数	平均（歳）	標準偏差	欠損値
5899データ	5895	34.59	10.13	4
挿入を伴う	1274	35.94	10.58	0
身体に触れる	3760	34.32	9.90	4
撮影	64	30.28	8.97	0
見させられた	378	33.97	10.06	0

結果①

2. 性別・性自認（本人記載）

- ・女性（あるいはトランス女性含む）からの回答が90%以上を占めていた

→実際に女性の被害は多いが、男性や性的マイノリティに調査が届かなかった、あるいは積極的に回答を促す広報していなかったことで回答へのハードルが上がった可能性

	分析データ数	女性	男性	その他	Xジェンダー	ノンバイナリー	クエスチョニング	トランス男性	トランス女性	無性	決まっていない	中性	両性	クィア	トランスジェンダー
5899データ	5898	5688	65	9	37	24	13	2	1	17	29	5	3	2	3
挿入を伴う	1274	1217	18	0	14	9	6	0	0	2	4	2	1	1	0
身体に触れる	3763	3645	33	7	18	14	5	2	0	11	21	2	1	1	3
撮影	63	60	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見させられた	378	371	1	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0

結果①

3. 出来事内容（複数回答可能）

- ・「5899データ」のうち、“衣服の上から身体を触られた”3770件（63.9%）と最も多く、次いで“衣服の下に当たる部分の身体を触られた”2039件（34.6%）、“性器、胸等を見せられた”1845件（31.3%）であった。
- ・「その他」では「精液をかけられる」「キスをされる」「そばで自慰行為をされる」など多様な被害が報告された。

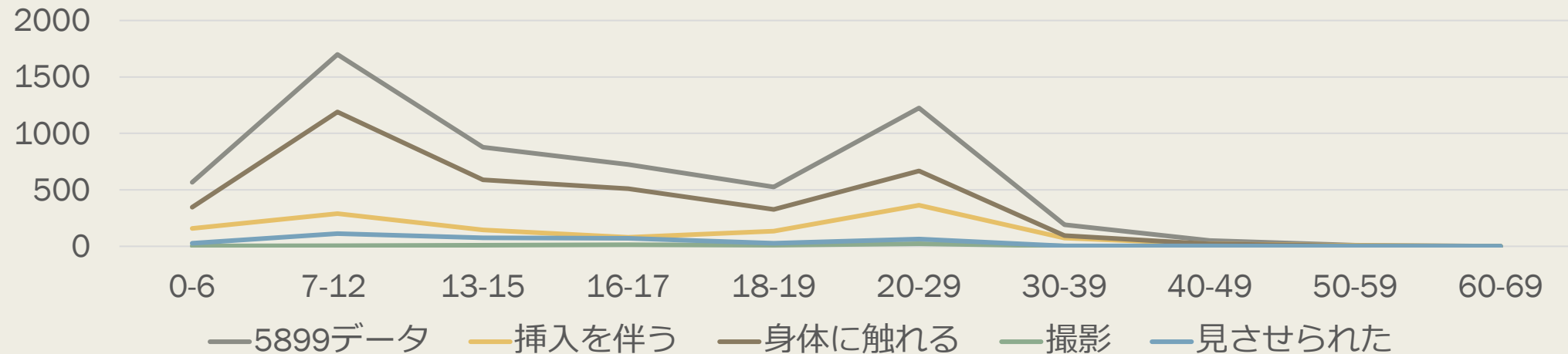
	見せられた	撮影された	触らされた	衣服の上から	脱がせられた	衣服の下から	挿入を伴う	その他
5899データ	1845	428	1057	3770	992	2039	1274	870
挿入を伴う	497	208	543	679	621	763		
身体に触れる	924	142	514	3091	371	1276		

結果①

4. 被害時の年齢

	分析データ数	平均（歳）	標準偏差	欠損値
5899データ	5871	15.39	7.43	28
挿入を伴う	1267	16.83	8.91	7
身体に触れる	3747	14.78	6.84	17
撮影	64	20.09	8.19	0
見させられた	378	14.48	5.78	0

被害時の年齢カテゴリ別回答件数



結果①

5. 被害継続年数

- ・ 継続した被害であったと回答した件数

	被害継続終了件数	被害継続中件数	合計件数
5899データ	2313	273	2586
挿入を伴う	682	64	746
身体に触れる	1375	190	1565
撮影	22	2	25
見させられた	85	7	92

- ・ 被害継続年数カテゴリ別回答件数

被害継続年数 (年)	0-1	2-3	3-7	8-10	11- 15	16-20	21- 25	26-30	31-
5899データ	1190	331	345	147	147	88	37	19	9
挿入を伴う	336	110	105	41	43	25	10	7	5
身体に触れる	667	184	223	100	101	59	26	10	5
撮影	14	5	1	1	1	0	0	0	0
見させられた	66	7	7	2	2	1	0	0	0

結果①

6. 加害者の人数

- ・ どの出来事においても“一人”が最も多かった。
- ・ “不明”113件のうち、「身体に触れる」での割合が83件（73.4%）と高かった。

	一人	複数	不明	欠損値
5899データ	5193	582	113	11
挿入を伴う	1094	172	7	1
身体に触れる	3325	350	83	7
撮影	59	5	0	0
見させられた	361	10	7	0

結果①

7. 加害者の性別（自由記述）

- ・ どの出来事においても「男性」が最も多かったが、「女性」や「不明」の場合、「男女両方」の場合も見られた。

対象データ	女性	男性	トランス女性	不明	男女両方
5899データ	67	5624	1	46	42
挿入を伴う	12	1219	0	4	12
身体に触れる	41	3593	1	38	24
撮影	0	63	0	1	0
見させられた	0	367	0	0	0

結果①

8. 加害者との関係（続く）

	分析 データ 数	同居父（実父 継父）	同居母 （実母継 母）	別居 父 （実 父継 父）	別居 母 （実 母継 母）	親の 恋人	兄弟 姉妹	親戚	配偶 者／ パー ト ナー ／恋 人	幼 保・ 小中 高・ 大学 の教 員職 員	塾や 習い 事な どの 先生	友人	知人	児童 生徒 学生 自体 の先 輩	児童 生徒 学生 時代 の後 輩
5899データ	5896	204	13	9	0	21	173	197	170	118	87	158	290	106	11
挿入を伴う	1274	55	1	1	0	10	63	56	124	29	25	62	139	30	2
身体に触れ る	3762	124	8	8	0	10	106	132	22	76	54	82	129	67	9
撮影	64	1	0	0	0	0	0	0	6	1	0	4	5	0	0
見させられ た	378	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	2	2	0

結果①

8. 加害者との関係（続き）

	就職活動で知り合ったOBOG等	仕事の上司	仕事の取引先・客など逆らいにくい関係者	自分がかかっていた医療機関の医療看護心理職	自分の居住していた福祉施設職員	自分の通っていた福祉施設職員	見知らぬ人	その他
5899データ	4	223	146	26	2	1	3332	605
挿入を伴う	2	75	65	7	2	0	310	216
身体に触れる	2	114	64	17	0	1	2426	311
撮影	0	4	4	0	0	0	35	4
見させられた	0	1	0	0	0	0	355	12

結果①

9. 被害時の状態（複数回答可能）

各項目内容は別紙参照

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
5899データ	248	397	2368	490	752	1354	1155	3171	1165	1996	355	1306	162
挿入を伴う	151	135	538	246	319	628	404	617	435	482	242	449	61
身体に触れる	73	234	1522	197	369	606	696	2086	654	1314	96	734	91
撮影	4	4	16	4	6	9	7	27	4	15	2	12	3
見させられた	6	1	140	3	1	32	14	211	24	90	2	61	1

	14	15	16	17	18	19	20	21	22
5899データ	251	46	57	7	13	131	588	172	849
挿入を伴う	166	39	42	5	8	74	300	133	178
身体に触れる	68	4	11	2	4	40	239	33	490
撮影	3	2	1	2	2	2	4	1	13
見させられた	6	6	6	6	6	5	2	6	57

結果①

10. 加害者の言動（複数回答可能）

各項目内容は別紙参照

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
5899デー タ	674	140 4	584	428	139 8	350 5	944	587	370	138	500	258	467	213	152	279	66	611
挿入を伴う	335	521	288	259	404	499	423	353	275	83	291	144	274	155	105	171	44	138
身体に触れ る	280	853	245	137	760	251 3	455	200	70	47	180	83	153	44	39	89	19	323
撮影	6	4	2	3	7	40	4	2	3	3	1	3	8	3	3	3	3	3
見させられ た	3	2	9	2	96	257	22	11	7	13	4	3	4	2	13	3	13	56

結果①

11. 被害認識可否

- ・被害に遭った時に、すぐにそのことを「被害」だと認識できたか

	分析データ数	はい	いいえ	欠損値
5899データ	5866	2815	3051	33
挿入を伴う	1266	456	810	8
身体に触れる	3745	1926	1819	19
撮影	64	38	26	0
見させられた	377	211	166	1

結果①

12. 被害認識年齢

- 被害だと認識できなかった場合、認識するまでどのくらいの年数がかかったか

	分析データ数	平均	標準偏差
5899データ	3011	7.01	8.08
挿入を伴う	799	7.48	8.24
身体に触れる	1792	6.67	7.86
撮影	26	3.50	4.79
見させられた	167	7.09	8.74

- 被害認識までの年数カテゴリ別回答件数

被害認識年数 (年)	0-1	2-3	3-7	8-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31-
5899データ	941	381	639	326	335	160	94	73	62
挿入を伴う	233	104	164	86	93	48	36	16	19
身体に触れる	573	234	394	199	188	81	47	46	30
撮影	13	4	3	1	5	0	0	0	0
見させられた	55	14	43	20	15	8	2	2	8

結果①

13. 身近な人（家族や友人、パートナー、知人など）に被害を打ち明けたことがあるか
打ち明けたことがあるか否か

	はい	いいえ	欠損値
5899データ	3825 (64.8%)	2044	30
挿入を伴う	809 (63.5%)	462	3
身体に触れる	2422 (64.3%)	1323	19
撮影	39 (60.9%)	25	0
見させられた	269 (71.2%)	105	4

・初めて身近な人に打ち明けたのは被害後何年だったかのカテゴリ別回答件数

	0-1	2-3	3-7	8-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31- (年)
5899データ	2101	266	392	260	308	178	118	72	65
挿入を伴う	369	60	93	74	90	46	33	19	15
身体に触れる	1354	175	248	154	183	108	71	40	43
撮影	29	3	2	2	2	0	0	0	0
見させられた	182	10	26	16	16	10	3	4	3

結果①

14. 身体の状態について病院に相談したことがあるかどうか

病院に相談したことがあるか否か

	はい	いいえ	欠損値
5899データ	474	5405 (91.6%)	20
挿入を伴う	104	1164(91.4%)	6
身体に触れる	302	3450(91.7%)	12
撮影	3	60(93.8%)	1
見させられた	33	344(91.0%)	1

・ 身体の状態について病院に相談したのは被害後何年だったかのカテゴリ別回答件数

	0-1	2-3	3-7	8-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31- (年)
5899データ	31	33	69	65	69	39	40	18	24
挿入を伴う	369	60	93	74	90	46	33	19	15
身体に触れる	20	22	51	47	44	24	28	9	12
撮影	0	0	1	1	1	0	0	0	0
見させられた	1	6	3	5	2	4	2	1	4

結果①

15. 被害後に、被害について専門家や支援機関に相談したことがあるかどうか

専門家相談をしたか否か

	はい	いいえ	欠損値
5899データ	646	5211 (88.3%)	42
挿入を伴う	139	1131 (88.8%)	4
身体に触れる	402	3330 (88.4%)	32
撮影	8	55 (85.9%)	1
見させられた	45	331 (87.6%)	2

・初めて専門家や支援機関に相談したのは被害後何年だったかのカテゴリ別回答件数

	0-1	2-3	3-7	8-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31-
5899データ	29	37	92	73	95	81	74	37	55
挿入を伴う	7	6	11	17	19	21	15	7	11
身体に触れる	19	25	64	44	60	48	52	25	31
撮影	0	0	2	1	2	1	0	0	0
見させられた	0	6	8	7	7	7	1	1	6

結果①

16. 被害について警察に相談したことがあるかどうか

警察に相談をしたか否か

	はい	いいえ	欠損値
5899データ	894	4944 (83.8%)	61
挿入を伴う	208	1052 (82.6%)	14
身体に触れる	559	3170 (84.2%)	35
撮影	7	56 (87.5%)	1
見させられた	55	316 (83.6%)	7

・初めて警察に相談したのは被害後何年だったかのカテゴリ別回答件数

	0-1	2-3	3-7	8-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31-
5899データ	85	78	136	88	120	71	41	12	15
挿入を伴う	16	16	24	16	28	18	8	0	2
身体に触れる	59	47	95	59	77	45	29	10	9
撮影	0	1	0	1	1	0	0	0	0
見させられた	8	8	7	6	6	4	1	0	2

結果①

17. 刑事手続

事件を警察に相談した場合、刑事手続がどのようになったかについて尋ねた回答は当てはまるものにチェックを入れてもらった。

下記の表は、それぞれの項目にチェックした回答件数

	対象データ数（警察に相談したと回答した件数）	警察で被害届が受理された	警察で被害届が受理されなかった／被害届の存在を知らされなかった	検察で起訴された	検察で不起訴になった	裁判で有罪になった	裁判で無罪になった
5899データ	894	415	429	53	56	42	5
挿入を伴う	208	104	94	9	14	8	1
身体に触れる	559	262	270	38	35	29	4
撮影	7	1	6	0	0	0	0
見させられた	55	22	27	2	3	2	0

結果①

18. 被害記憶

被害に遭った経験の一部、あるいはすべてについて、記憶をなくしていた、あるいは思い出せなかった時期があるかどうか。

	はい	いいえ	欠損値
5899データ	1273 (21.6%)	4609	17
挿入を伴う	263 (20.6%)	1007	4
身体に触れる	824 (21.9%)	2931	9
撮影	10 (15.6%)	54	0
見させられた	85 (22.4%)	290	3

被害の記憶が戻るまでの年数カテゴリ別回答件数

	0-1	2-3	3-7	8-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31-
5899データ	109	99	186	114	128	91	70	36	12
挿入を伴う	14	18	40	25	26	20	14	8	2
身体に触れる	78	69	115	80	82	55	48	24	10
撮影	0	0	1	0	2	0	1	0	0
見させられた	9	8	16	5	10	11	2	1	0

結果①

19. 性交を知った年齢

性交とはどのような行為か、明確に知ったのは何歳か

	分析データ数	平均（歳）	標準偏差
5899データ	5344	13.46	3.31
挿入を伴う	1159	13.50	3.05
身体に触れる	3410	13.47	3.41
撮影	55	13.18	3.30
見させられた	341	13.38	3.46

20. 性交同意可能年齢

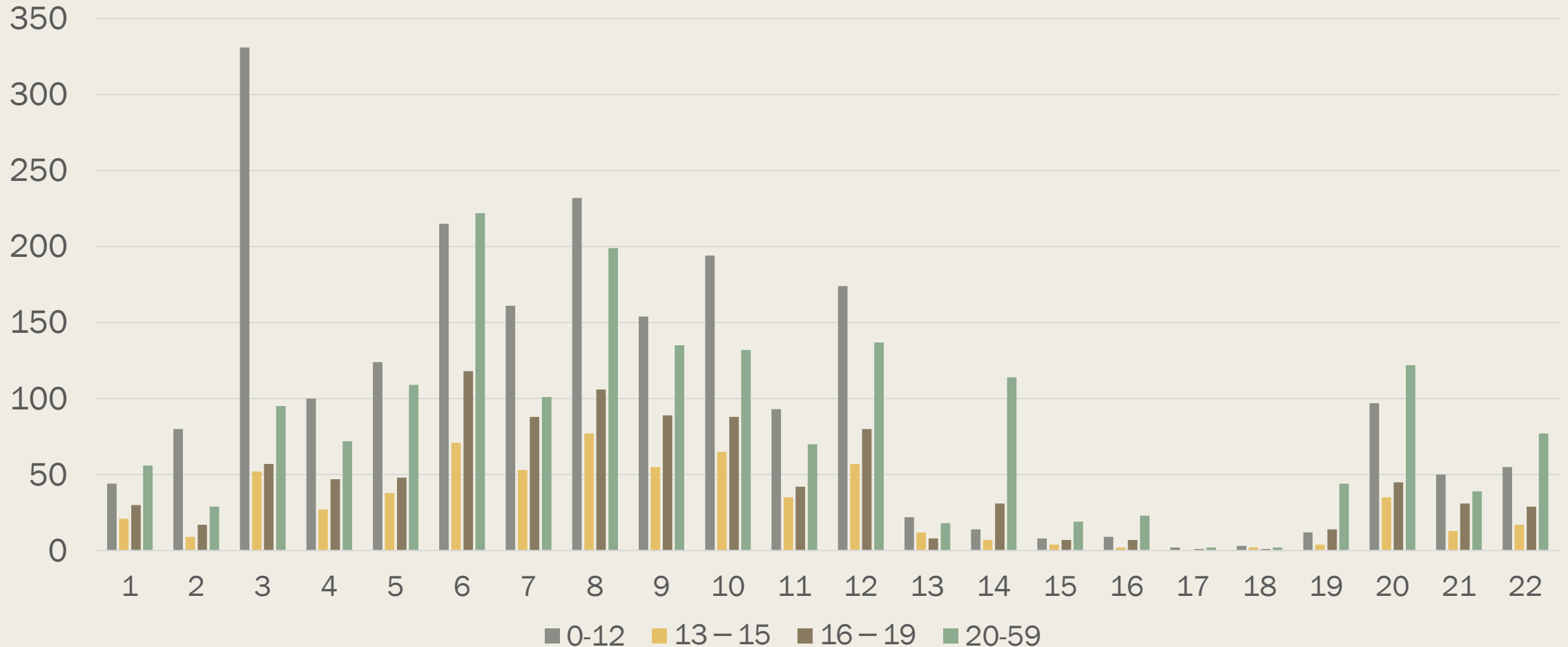
- ・性交に伴うリスクも認識した上で、相手と同等の関係で性交に同意できる年齢は何歳か

	分析データ数	平均	標準偏差
5899データ	5331	19.4	3.50
挿入を伴う	1161	19.40	4.15
身体に触れる	3395	19.40	3.34
撮影	56	19.21	3.58
見させられた	338	19.56	3.49

結果② 暴行脅迫要件・抗拒不能要件に関わるまとめ

挿入を伴う被害

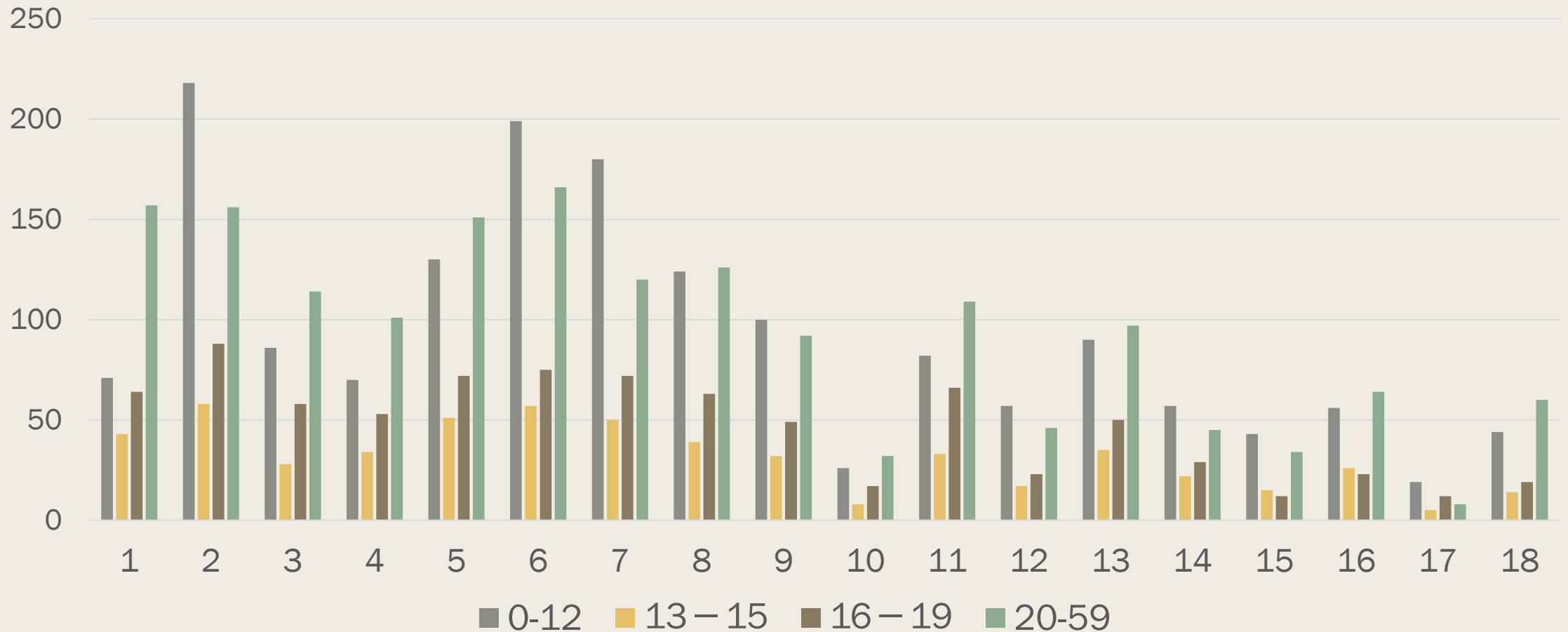
被害時年齢カテゴリ別被害者の状態回答件数



結果② 暴行脅迫要件・抗拒不能要件に関わるまとめ

挿入を伴う被害

年齢層別加害者の状態回答件数



結果③ 地位関係性を利用した性被害

- ・データの把握しやすさを考慮して、加害者属性を以下のように分類した

「親」 – 「同居父」「同居母」「別居父」「別居母」

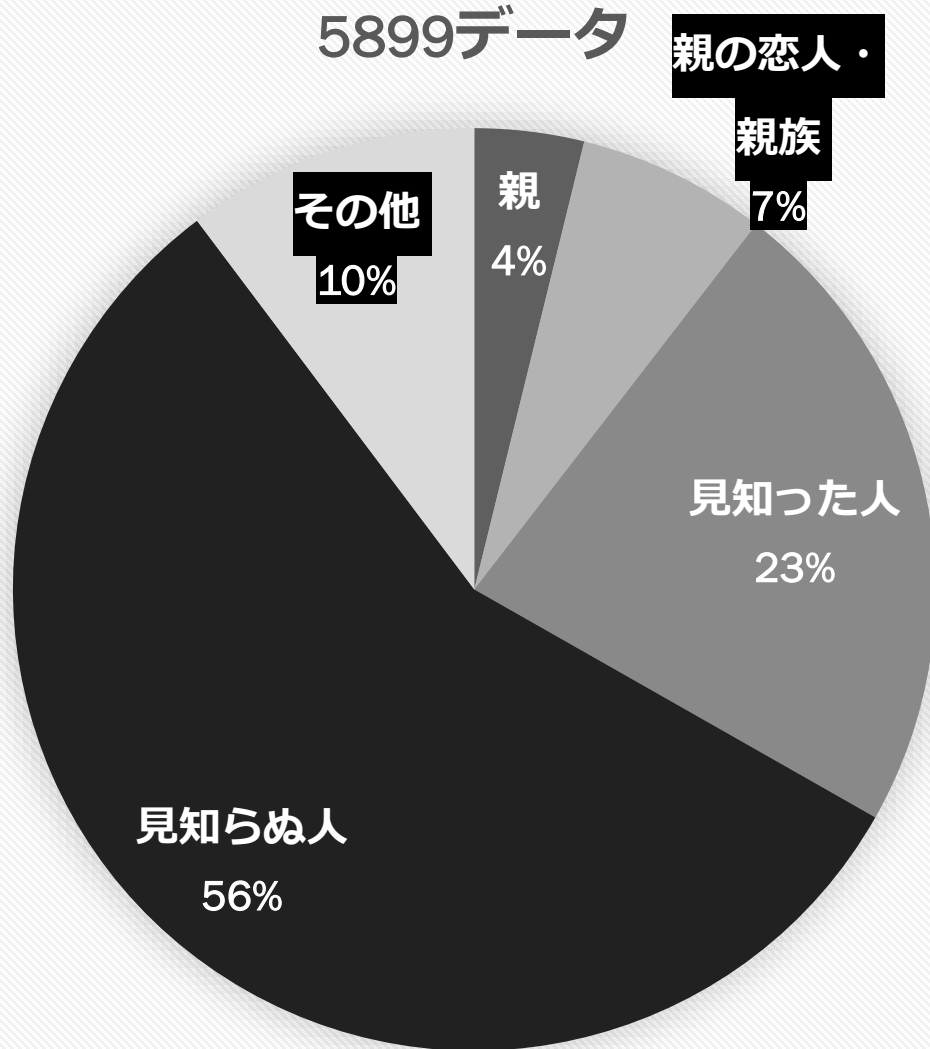
「親の恋人・親族」 – 「親の恋人」「兄弟姉妹」「親戚」

「見知った人」 – 「パートナー」「教員職」「塾先生」「友人」「知人」「先輩」
「後輩」「就活OBOG」「上司」「取引先や客」「医療従事者」

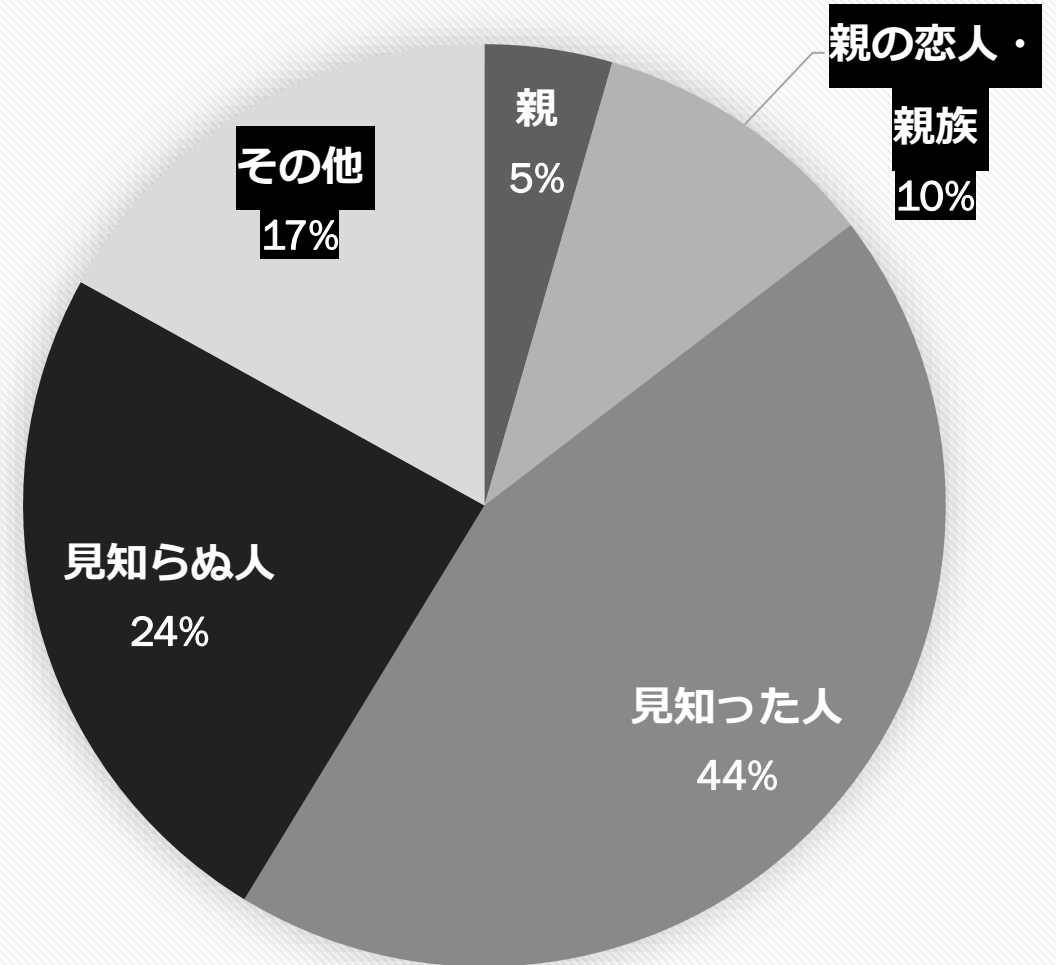
「見知らぬ人」 – 「見知らぬ人」

結果③ 地位関係性を利用した性被害

5899データ



挿入をともなう



結果③ 地位関係性を利用した性被害

- ・ 本発表では表は割愛するが、挿入を伴う性被害について、被害時の年齢ごとに加害者属性を検討した結果、以下の点が分かった
- ・ 加害者が「親」「親の恋人・親族」の場合、年代別には7～12歳の割合が最も大きく（42.1%）、次いで0～6歳（36.8%）
- ・ 「親」「親の恋人・親族」による挿入をともなう性被害は、8割以上が12歳以下という回答
- ・ 加害者が「見知った人」である場合は20歳～29歳の割合が最も大きい（44.2%）
- ・ 20～29歳の「見知った人」内訳は多い順に
「パートナー」で59件／「知人」が53件／「上司」が47件／「取引先客」が39件
- ・ 12歳までの被害では「親」「親の恋人・親族」あるいは「見知らぬ人」の回答件数が多い
- ・ 13歳以上で徐々に「見知った人」の割合が増え、20歳以上は大半が「見知った人」となる

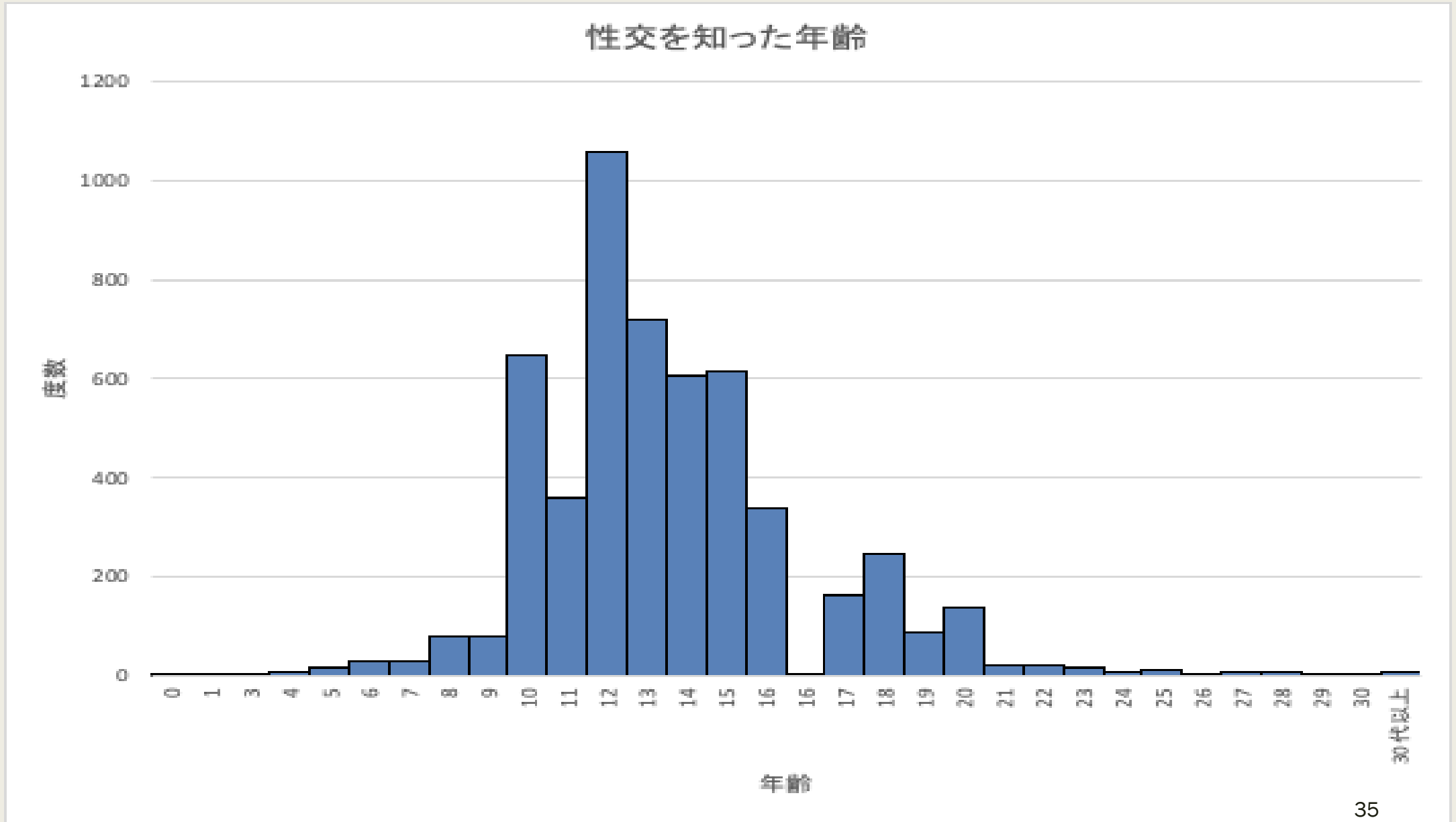
結果③ 地位関係性を利用した性被害

- 本発表では表は割愛するが、挿入を伴う性被害について、加害者属性ごとに被害発生時の被害者の状態を検討した結果、多い順に3項目は以下の通りだった。
(「被害者の状態」は複数回答有)
- 「親」：「良くわからない状態」(68.4%)、「受け入れないとひどい目に合う」(56.1%)
「経済的な問題等で従うしかなかった」(54.4%)
- 「親の恋人・親族」：「良く分からない状態」(68.2%)、「他人に知られたくなく抵抗困難」(54.3%)、「驚いた、身体が硬直した」(52.7%)
- 「見知った人」：「受け入れないとひどい目にあう」(51.8%)「現実的でない感じがした」(34%)、「経済的な問題等で従うしかなかった」(31.1%)
- 「見知らぬ人」：「怖くて身体が動かない」(56.5%)、「驚いた・身体が硬直した」(52.6%)、「良く分からない状態」(46.4%)

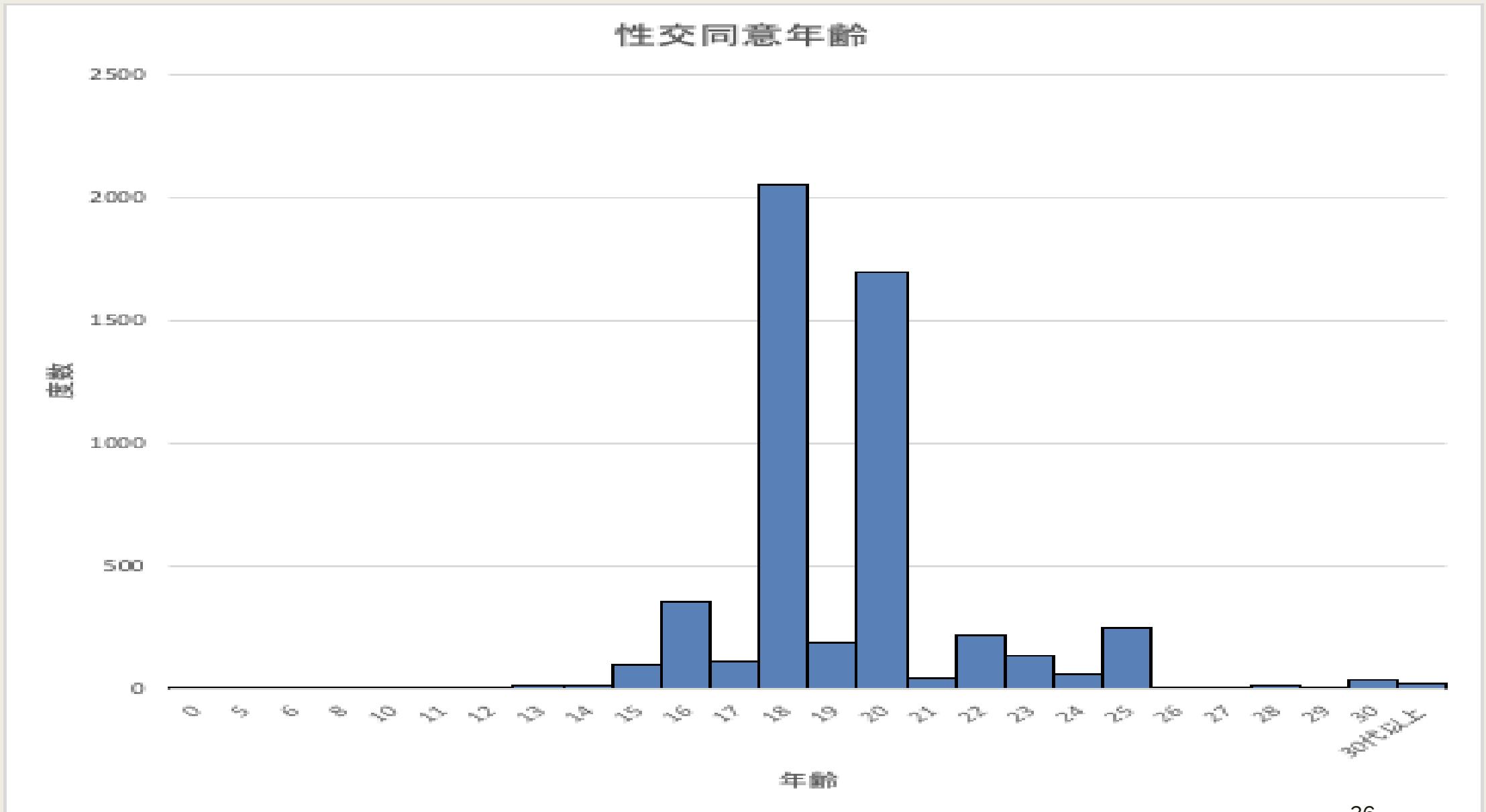
結果③ 地位関係性を利用した性被害

- 本発表では表は割愛するが、挿入を伴う性被害について、加害者属性ごとに加害発生時の加害者の言動を検討した結果、以下の点があった
（「加害者の言動」は複数回答有）
- 「親」：「身体接触の増加」（68.4%）、「愛情表現と主張」（42.1%）
「突然に性加害をした」（42.1%）
- 「親の恋人・親族」：「身体接触の増加」（58.6%）、「突然に性加害をした」（49.2%）
「騙して人気のない場所に連れて行った」（25.0%）
- 「見知った人」：「身体接触の増加」（40.6%）「愛情表現と主張」（31.4%）
「予想外の言動をした」（33.2%）
- 「見知らぬ人」：「突然に性加害をした」（47.9%）、「だまして人気のない場所に連れて行った」（43.4%）、「予想外の言動をした」（27.2%）

結果④ 性交同意年齢について



結果④ 性交同意年齢について



結果④ 公訴時効について

被害時 年齢	被害認識年数								総計	認識無群の うち11年以 上の%	回答総数に 占める11 年以上の%
	0-1	2-3	4-7	8-10	11-20	21-30	31-				
0-6	8	5	27	25	42	20	6	133	51.13	43.31	
7-12	25	29	67	23	33	13	8	198	27.27	18.62	
13- 15	23	8	21	6	16	8	3	85	31.76	18.62	
16- 19	41	26	18	7	21	5	0	118	22.03	12.21	
20- 29	104	27	28	18	26	4	2	209	15.31	8.79	
30- 39	22	8	2	5	2	1	0	40	7.50	4.17	
40- 49	7	1	0	2	0	0	0	10	0.00	0.00	
50- 59	3	0	0	0	0	0	0	3	0.00	0.00	

結果④ 公訴時効について

被害 時年 齢	記憶が戻ってきた年数								総計	認識無群の うち11年 以上の%	回答総数 に占める 11年以上 の%
	0-1	2-3	4-7	8-10	11-20	21-30	31-				
0-6	1	0	0	2	6	4	1	14	78.57	7.01	
7-12	2	4	7	12	14	11	1	51	50.98	8.97	
13-15	2	0	8	2	5	2	0	19	36.84	4.83	
16-19	6	6	9	1	5	0	0	27	18.52	2.35	
20-29	3	8	15	7	16	5	0	54	38.89	5.77	
30-39	0	0	1	1	0	0	0	2	0.00	0	

結果④ 公訴時効について

被害時 年齢	身近な人に被害を打ち明けるまでの年数								総計	身近告知内 で11年以上 の%	回答総数に 占める11 年以上の%
	0-1	2-3	4-7	8-10	11-20	21-30	31-				
0-6	15	2	5	12	41	23	2	100	66.00	42.04	
7-12	48	8	35	25	54	15	10	195	40.51	27.24	
13-15	31	13	20	11	12	7	0	94	20.21	13.10	
16-19	77	14	18	9	14	1	0	133	11.28	7.04	
20-29	158	20	13	12	11	6	2	222	8.56	5.22	
30-39	28	3	2	0	2	0	0	35	5.71	2.78	
40-49	9	0	0	5	1	0	0	15	6.67	5.00	
50-59	3	0	0	0	0	0	0	3	0.00	0.00	

本調査の限界

1. WEB調査について

- ・ メリット : 自宅で回答できる、対面式より任意性が高まる
- ・ デメリット : WEBにアクセスできる人に限られる

2. 調査対象者について

- ・ 性被害の実態を伝えるために、あるいは法改正のために、という調査であるために性暴力被害を取り巻く社会問題に関心のある人々の回答が多かった可能性がある
- ・ 男性や性的マイノリティの回答が少ない
- ・ 被害内容について尋ねているため、心身の状態によっては回答ができなかった人もいる

3. 調査分析について

- ・ 性犯罪に関する刑事法検討会に提出することを目指したために分析にかけられる時間が短い
- ・ 今後より精緻な分析を行っていくことが望まれる

最後に

回答を寄せてくださった方々の

- ・ 性暴力被害者に理解のある社会にしたい
- ・ 性犯罪に関する刑事法の改正を望んでいる
 - ・ 性暴力被害のない社会にしたい

といった思いを真摯に受け止める必要があります。

調査にご協力くださった皆さまに

心より御礼申し上げます。